

第 242 回東京支部技術フォーラムのご案内

2018 年度の診療報酬改定により、施設基準を満たした施設において、適切な線量管理・記録を実施することで、画像診断管理加算 3 が算定できることになりました。これまでも医療被ばくの正当化と最適化に向けた様々な活動が行われてきましたが、診療報酬として認められることで、この動きが加速されることは間違いありません。ここで重要となるのが、効率的かつ医療スタッフの負担を増大させないための線量管理・記録システムと記録する値の妥当性です。今回のフォーラムは 2020 年 4 月より義務化が決定している CT 検査の被ばく線量評価のための web システムと、血管撮影、核医学の線量管理に対応した被ばく線量管理システムを取り上げ、現状を知るとともに、開発者と意見を交換することで、今後の対応と展望を考える場になりたいと存じます。診療放射線技師として、誰もが係わりを持つことです。皆様の参加をお待ちしています。

日 時 : 2019 年 6 月 13 日 (木) 19:00~21:00 (18:45 受付開始)

会 場 : 東京女子医科大学病院 総合外来センター 5F 大会議室

〒162-8666 東京都新宿区 河田町 8-1

都営新宿線「曙橋駅」A2 出口徒歩 12 分

都営大江戸線「若松河田駅」若松口徒歩 5 分、都営大江戸線「牛込柳町駅」西口徒歩 8 分

参加費 : 会員 1,000 円 非会員 2,000 円 学生会員 無料 学生非会員 500 円

事前申込 : 不要

プログラム : テーマ「放射線被ばく線量の記録システムについて」—線量記録の義務化に向けて—

1. 法的背景の確認

東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 富樫 敦史

2. CT 撮影被ばく線量評価のための web システムについて

量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所放射線防護情報統合センター 古場 裕介

3. 被ばく線量管理システムについて

㈱フィリップスエレクトロニクスジャパン 沢 秀樹
高柳亮太郎

4. 現状での対応

※プログラムの詳細が決まりましたら東京支部ホームページにて案内します。

問 合 先 : 公益社団法人 日本放射線技術学会 東京支部 医療情報研究班

E-mail jsrt.tokyo.joho@gmail.com

悪天候などによる開催については HP をご確認ください。

東京支部ホームページ <http://jsrt.tokyo/>

担当 医療情報研究班